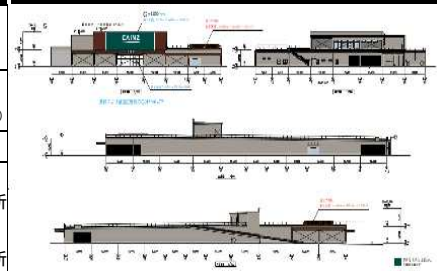


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	カインズ小田原店	階数	2
建設地	小田原市中里字堀合322番2, 322番8	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	1,800 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,475 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年7月 予定	評価の実施日	2024年10月1日
敷地面積	20,007 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社伊藤建築設計事務所
建築面積	9,115 m <sup>2</sup>	確認日	2024年10月2日
延床面積	9,526 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社伊藤建築設計事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.9

**LR のスコア = 2.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.6

3 設計上の配慮事項		その他
<p><b>総合</b></p> <p>JR東海道本線鴨宮駅からバスで15分の商業地域にホームセンターの用途の単独店を計画する店舗は鉄骨造2階建てとし、主に1階を店舗、2階は屋上駐車場と行き来するためのエレベーターホールを設ける</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築材料はJIS・JAS規格のF☆☆☆☆建材をほぼ全面的に使用。</li> <li>・ 空気取り入れ口は汚染源の無い方位に設けられている。かつ、各種排気口と異なる方位で、かつ6m以上離れて設置。</li> <li>・ ビル全体の禁煙が確認されている。</li> </ul>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売場天井高さは3.6m以上、階高は3.9m以上としている。</li> </ul>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率82%</li> <li>・ 適切な量の自転車置場、駐車場を配置し、管理用車両の駐車施設も設置している</li> </ul>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される